

横濱まちづくりラボがスタートしました

平成 26 年 7 月 1 日 (火) 横浜市技能文化会館を会場に定員を超える 133 名が出席し横濱まちづくりラボがスタートしました。
今回のラボではまちづくりを支える「場」づくりについてのトークセッションや参加者同士の懇親会が行われました。

先進事例に学ぶ「場」づくり



トークセッションの様子

キックオフイベントでは、治田友香氏 (Mass×Mass 関内フューチャーセンター代表取締役)、宮地悠夏氏 (企業間フューチャーセンター代表理事、3×3Labo 運営事務局) より、先進的な場づくりの取組をご紹介いただきました。その後、島田健治 (横浜市都市整備局都心再生部長)、菅孝能氏 (山手総合計画研究所株式会社)、橘昌邦氏 (POD 共同代表) を交えてトークセッションを行いました。

関内駅周辺地区で進める「場」づくり——高まる横濱まちづくりラボへの期待

トークセッションでは、場のコンセプトや場づくりにおける工夫、場と社会・まちとのつながり、プロジェクト化に向けた活動づくりなど、様々な内容でディスカッションが進められました。

治田氏からは「横浜を好きな人、各地にも影響があるようなカッコいいものにしてほしいと思う」、宮地氏からは「地元の方をうまく巻き込むことがポイント。キーパーソンが集まる日本の先進事例となっていてほしい」と、横濱まちづくりラボへの期待の言葉が語られました。

コーディネーターを務めた橘氏は次のような言葉でトークセッションを締めくくりました。「横濱まちづくりラボは、具体的なプロジェクトを実現していくような場になってほしい。まちを舞台にトライアルできる場を皆さんと連携しながらつくっていききたい。」



参加者からの声

- ・地域の活性化のために、いろいろな人、団体が活躍していることに感心しました。このような活力をうまく活用出来れば、契機になると思います。
- ・「場」づくりの意義は理解できた。関内駅周辺地区にはそういう「志」がある人が少なくないと感じた。
- ・起業家を結びつけ、新しいイノベーションを生み出す流れとまちづくりとがやや繋がり難く感じました。

今後の活動

今後の横濱まちづくりラボでは、関内駅周辺地区まちづくりの将来像についての議論や横浜文化体育館再整備などの個々のプロジェクトに対する事業性を伴ったアイデア募集などを並行して進めていきます。

横濱まちづくりラボから生まれるまちづくりのアイデアやプロジェクトにご期待ください!

平成26年6月19日
都市整備局 都心再生課

まちづくり検討
の“場”づくり

新市庁舎整備を契機とした関内駅周辺地区の公民連携による“まちづくり” 「横濱まちづくりラボ」をスタートします！

横浜市では、新市庁舎整備を契機とした関内駅周辺地区のまちづくりに取り組み、リーディングプロジェクトとしての横浜文化体育館再整備、現市庁舎街区の利活用・再整備等を進めていきます。

現在、地元協議会の方々との意見交換や庁内での検討を行っています。あわせて公民連携により新しいアイデアを生み出す“場”として、

「横濱まちづくりラボ」をスタートします。

つきましては、キックオフイベントとして、
7月1日（火）に「第1回 まちづくりラボ」を開催します。
(詳細は裏面参照)



「横濱まちづくりラボ」の概要

「横濱まちづくりラボ」では、より魅力と活力のあるまちづくりを進めるため、市民、企業、大学や行政などの様々な主体が、多様な視点や価値観のもとにまちづくりのテーマについて対話と交流を行い、オープンセミナーやディスカッションを通じて、まちの将来像やまちづくりのアイデアを生み出します。

【想定しているテーマ】

- ・関内駅周辺地区のまちづくりを進めるための効果的な「場」づくり
- ・横浜文化体育館の再整備とまちづくり
- ・教育文化センター跡地などの市有地の利活用とまちづくり
- ・現市庁舎街区の利活用・再整備等のあり方とまちづくり など



横濱まちづくりラボの活動は、本市ホームページ等を通じて、継続的に情報発信していきます。

【横濱まちづくりラボ ホームページ】

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/machilab/>